

## 議 事 要 旨

内容	第 11 回福知山市新文化ホール基本計画再検討委員会
実施日時	2026 年 1 月 21 日（水） 10:00-12:00
場所	福知山市厚生会館 中会場
参加者	委員 夜久豊基、菊田学美、足立直敬、谷垣修身、谷垣均、中村豪文、淵上紫乃、前田竹司、 牧野新子 アドバイザー 生田創 事務局（福知山市） 山本、森田、井上、塩見、岩木、梅原
使用資料	・福知山市新文化ホール基本計画再検討結果報告書(案)

### ◆主な検討結果

#### （1）再検討結果報告書について

- ・ 第 10 回再検討委員会にて協議された内容を反映した福知山市新文化ホール基本計画再検討結果報告書（案）の文言を一部修正し、完成したものを委員会後に市長に提出する。

## 議論の要旨

### 1. 開会

- ・ (委員長) 令和 6 年 9 月 26 日から令和 7 年 12 月 23 日まで議論を重ねてきた。本日の第 11 回は新文化ホール基本計画再検討結果報告書をまとめる段階である。本日も議論をお世話になりたい。

### 協議事項

#### (1) 再検討結果報告書について

##### 一 再検討結果報告書についての説明一

- ・ (委員長) まず、「3 再検討結果」以外で修正したい箇所はあるか。
- ・ (委員 G) 福知山市の人口動態を踏まえたうえで再検討結果報告書を作成してほしい。
- ・ (委員長) この再検討結果報告書は第 10 回再検討委員会にて皆で修正した経過がある。意見は理解するが、本日はこの報告書を完成させることを優先していただきたい。
- ・ (委員 A) 再検討結果報告書の P1 と P5 に「示したもの」という表現があるが、「提言するもの」と表現する方がふさわしいと考える。
- ・ (委員長) それでは「3 再検討結果」について、修正したい箇所はあるか。
- ・ (委員 E) ホールの規模について、「場所の検討にも影響するため席数は 800 席から 1000 席と幅を持たせる」とあるが、これでは 1000 席が確保されない場合もあるとの誤解を生む可能性があるため、800 席から 1000 席の間で席数を変更できる仕様にする、などの表現が適切だと考える。
- ・ (委員 J) 自分も委員 E と同意見である。
- ・ (委員 I) 第 10 回再検討委員会の資料にこれまでの委員会の検討結果をまとめた箇所があり、そこに「将来的な利用状況を見据えて 800 席から 1000 席の範囲で柔軟に対応する」との表現がある。この文言を使用してはどうか。
- ・ (委員 G) 将来的な人口動態を踏まえて基準を 800 席に寄せたほうが良いのではないか。
- ・ (委員長) この委員会では過去から多くの委員が 1000 席を基準にするとの意見を寄せているため、1000 席を基準にするのが順当かと考える。表現をどうするかを話し合うべきである。
- ・ (委員 F) 建設候補地によって座席数が若干変わるため、この段階で座席数を決めるのは難しいと考える。
- ・ (委員 C) 少子高齢化で利用率がどうなるか分からない状況を踏まえると、800 席から 1000 席の幅を持たせるといった表現が適切かと考える。
- ・ (委員 D) 座席数は場所の議論だけではなく、演目などにも影響する可能性がある。そのため、1000 席を基準とする、といいつつも若干の幅を持たせる表現がよいと考える。
- ・ (委員長) 幅を持たせる表現については、第 7 回再検討委員会で委員らの同意を得て決定した。今はこの幅を持たせる旨の表記方法について議論したい。
- ・ (委員 J) 最大席数が 800 席になる可能性があるということか。
- ・ (委員 I) 前回の委員会でも同じ議論があったが、再検討委員会は 1000 席を基準とすることに合意していると考えてよい。実際の設計で若干の席数増減がある可能性も含まれていると思うが、再検討委員会としては 1000 席を基準としてほしいと提言するものだと捉えている。
- ・ (委員 J) 了解した。自分は各候補地に本当に 1000 席のホールを建設できるのか分からず、過去の再検討委員会で事務局に質問したところ、設計してみないと確定したことは言えないとの回答を受けた。
- ・ (委員 C) 再検討委員会が 1000 席ものホールを建設すると決めたら、1000 席を埋めるだけの催しが必要とな

る。中丹文化会館や厚生会館の利用状況を加味して座席数を決めるべきだ。このホールは市民が利用するための施設であり、外部から人を呼んで鑑賞するためだけの施設ではない。そのため、幅を持たせる方が良いと考える。

- ・ (委員F) 市民の声は 800 から 1000 席を希望する声が一番多かったため、このような幅を持たせた表現が落としどころであると考えている。再検委員会で 1000 席、と決めるのは暴挙である。
- ・ (委員長) 1000 席を基準とするとすべきか、800 席から 1000 席の幅を持たせるとの表現を付記すべきか。
- ・ (事務局) 「1000 席を基準とする」という文章の直後に「800 席から 1000 席の幅を持たせる」という文章が続く事が座席数の上限が 800 席になるのではないかと誤解を生んでいるのかもしれない。そのため、「1000 席を基準とする」に続けて、「多様な演目に柔軟に対応するため、取外し可能な座席を設置するなど座席調整 (800 席から 1000 席) が可能な仕様にする」と表記するのはどうか。
- ・ (委員長) 事務局の今の提案に対して賛成か。
- ・ **【全員賛同】**
- ・ (委員長) これ以外に修正したい箇所はあるか。
- ・ (委員D) 「3 再検討結果 (3)建設候補地について」の駅北ゾーンに「連携が優位ゾーン」との表現があるが、これを「連携が期待できるゾーン」との表現にすると御霊公園・厚生会館ゾーンの表記との統一感が出る。
- ・ (委員長) これ以外に修正が無いようであれば、この内容で今から事務局に修正いただく。

—再検討結果報告書修正に伴う休憩—

- ・ (委員長) それでは修正箇所を確認する。P1 の「まえがき」内の「示したものを」を「提言するもの」に変更。P3 の「ホールの規模について」の文章を「座席数は 1000 席を基準とする。多様な演目に柔軟に対応するため、取外し可能な座席を設置するなど座席調整 (800 席から 1000 席) が可能な仕様にする」に変更。P3 の「建設候補地について」の文末を「期待できるゾーン」に統一。P5 の「今後に向けて」内にある「示したもの」という表記も P1 と同様に「提言するもの」に変更する。この再検討結果報告書を本日 15 時に市長へ提出する。最後にアドバイザーから一言お願いしたい。
- ・ (生田アドバイザー) 長きにわたってこのように議論が交わされたことが、ホールにとって重要なことであったと考える。会議内で話し合われたのは正解が無い問いで、なかなか議論がまとまらないこともあったが、その過程が未永く残されることには意味がある。私事だが、新たにしらかわホールに務めることとなった。このホールは名古屋市のクラシック専用ホールであるが、経営難に陥り 2 年前に閉館した。このホールを潰してマンションを建てる計画があったが、しらかわホールの再稼働を望む市民有志の署名活動が起こり、資金を集めて新たな運営会社を探し、しらかわホールの再生が行われた。このように、市民に愛されていけばホールが未永く続いていく。
- ・ (委員長) 議事がすべて終了したため、事務局に進行を返す。
- ・ (事務局) では、最後に副委員長より挨拶をお願いしたい。
- ・ (副委員長) このホールが将来の文化振興の拠点になるので、これからは「福知山市にとって文化とは何か」ということを考える段階だと思う。また、ホール単体ではなく、ホールができることでまち全体をどう変えるかといった部分の議論を深める必要もあると考える。この再検討委員会にて話し合われた内容が、今後有意義に活用されることを望む。

以上